

稲穂 将士さん

2009年度入学、2013年度卒業
京都府立丹後郷土資料館 資料課（歴史担当）技師



府大の大学院博士前期課程修了後、一度は民間企業に就職したのですが、研究の世界を諦めきれず1年で退職し、府大大学院の博士後期課程に進学しました。

博士前期課程進学以降は、海難事故をテーマに、近世における海運と地域社会との関係性や対外関係について研究しています。主なフィールドは丹後地域で、京都府立丹後郷土資料館所蔵の史料を中心に調査をおこなっていました。

そんな中、2019年に京都府教育委員会に文化財保護技師として採用され、現在は学生時代からお世話になっていた丹後郷土資料館に学芸員として勤務しています。現在の職に就いてからは、京都府北部地域を中心に府内の文化財調査、学校や地域の団体向けの出前授業、展示会の企画・運営などをおこなっています。最近では特別展「玉の輿」大名家の栄光と苦悩—徳川綱吉・桂昌院と宮津藩本庄松平家—を担当しました。仕事では学生時代に専門としていた古文書以外にも、絵画・彫刻などの美術工芸品の調査も取り扱います。

▼インタビュー

Q1.歴史学科のよいところは？



各分野の専門の先生がいらっしゃるところだと思います。ほかの大学だと、例えば「日本史」のコースがあっても、必ずしも古代、中世、近世、近現代、と各分野の教員がいるとは限りません。府大のみなさんとは今でも「ACTR（地域貢献型特別研究）」などで一緒に調査をしたりすることがありますが、やっぱり文献史だけでなく、地理、建築、考古学、と各分野にそれぞれ専門の先生がいることは心強いですね。特に建築は工学部系にすることが多いので、岸先生（建築史）がいらっしゃることは大きいですね。府大のチームが来てくれたら、その地域の文化財の調査を悉皆的にできるので助かっています。大学の外に出て改めて、府大はすごいな、よいところだったのだな、と思いましたね。

あと、基本的に私は古文書が専門なのですが、大学院のときは地理ゼミなどにも出ていて、調査について行ったりしたことが今の仕事にも活かしている部分が多くあります。**自分の専門は一応決めるけど、そのほかにもいろいろなことができる**のも府大のよいところかなと思います。

Q2.在学中にやっておいてよかったことは？



色々な調査に行ったことです。就職してからもこの経験が活かしています。

私は日本近世史のゼミに所属していましたが、「様々な分野の先生がいらっしゃる」という府大の環境を活かし、専門の調査だけに限らずほかの研究室の調査にも積極的に参加しました。専門を追求することも大切ですが、就職後は**専門外の知識が必要**になることも多くあります。歴史以外にもアルバイトや博物館や資料館の展示を見に行くなど**様々なことを経験し、幅広い知見を身につけておく**といいと思います。少しでも興味があることには積極的に挑戦してください。

Q3.現在のご職業を選んだ理由は？



大変なこともたくさんあるけれど、**やっぱり研究が楽しくて好き**だなと思ったので学芸員という職業を選びました。現在の職場を志望した理由としては、**京都は長い歴史**があり、**貴重な文化財がたくさんある**ことですね。今の仕事に就くまで教職課程を取ったり違う仕事も経験しましたが、研究が楽しくてもっとやりたいなと思い、大学院に入ってから学芸員資格を取り、学芸員になりました。

Q4.ご職業のやりがい・大変なことは？



やりがいは**誰よりも先に史料を見ることができる**ことですね。市町村に文化財専門の職員がいないところもあり、史料が出てきたときにすぐに連絡が入ります。どの専門家よりも史料を早く見ることができるのはおもしろいことだと思います。また、元々教師になりたかったこともあり、教育普及の一環で出前授業などを行い、学校教育に関われることもおもしろいことです。

一方で**毎年大きな展示**を行うことは大変なことでもあります。最近、博物館法の改正案が閣議決定され、文化観光の中に博物館が位置づけられようとしています。その流れの中で観光との連携が求められるようになり、図録のデザインや解説の多言語化など学芸員に**要求される仕事の幅が増えてきている**ことも大変なことですね。また、専門的知識や近年の流行なども**勉強し続けなければなりません**。



▲丹後郷土資料館の町歩きイベント

Q5. 学芸員になりたい人に アドバイスをお願いします！



色々経験してください。現在の状況としては学部卒業の人でも学芸員として採用されることがあるので、専門以外にもできる限り色々なものを見て幅広い分野のことを知っておくことが大切だと思います。特に博物館や美術館などの展示はよく見に行った方がいいと思います。また、観光との連携など、幅広いことが求められるようになってきているので、興味関心があることはとりあえず見ておいた方が良いでしょう。

また、**色々な人に会ってつながりをつくっておく**ことが大切です。学生時代にお世話になった方にアドバイスをもらったりするなど様々な方に助けられました。学芸員には**コミュニケーション能力**も大事になってくると思います。学芸員の仕事では、展覧会で展示する作品を借用したり、地域の中に入って調査をさせてもらったりします。そのためには信頼関係を築くことが必要になってきます。